

わんにゃん通信11月号

担当 田代

猫エイズ、白血病について



★感染原因

猫免疫不全ウイルス(FIV)と猫白血病ウイルス(FeLV)という異なるウイルスに感染することで発症します。

★症状

どちらも免疫機能が低下するため、風邪に似た症状や細菌感染、貧血、リンパ腫などの病気にかかりやすくなります。

★特徴

感染してもすぐに発症するとは限らず、一時的に無症状のキャリアー(保菌者)状態になることがあります。ストレスや他の病気によって発症しやすくなります。

主な感染経路

★猫白血病(FeLV)→感染猫の唾液や尿などの排泄物から感染します。食器の共有や毛づくろいによる感染リスクがあります。

★猫エイズ(FIV)→主に陽性猫とのケンカによる咬傷から感染します。

★共通の経路→胎盤や乳汁を介した母子感染や、長期間の濃厚な接触による感染もあります。



予防方法



★室内飼育

外で他の猫と接触する機会を減らすことで、感染リスクを大きく低減できます。

★ワクチン接種

猫白血病ウイルスには有効なワクチンがあり、感染前に接種することで感染を予防できます。猫エイズのワクチンがありますが、猫白血病のワクチンほど推奨されない場合があります。

★検査と隔離

新しい猫を迎える際は、感染の有無を確認するために検査を行い、陰性であることが確認されるまでは他の猫と隔離することが望ましいです。

感染が確認された場合

★対症療法

現時点ではウイルスを排除する治療法はありませんが、体調を良好に保つための対症療法(ケア)で症状の進行を遅らせ、猫の生活の質を向上させることが可能です。

★環境の整備

ストレスの少ない快適な環境を作り、栄養バランスの取れた食事を与えることが重要です。

★他の猫への感染予防

陽性猫と陰性猫の同居は避けるべきであり、感染拡大を防ぐために隔離することも必要です。

